



私たちの毎日を 支える市営交通

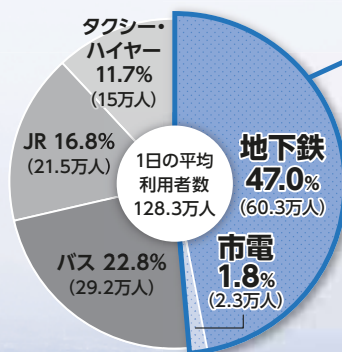
天候に左右されず運行する地下鉄と、沿線の景色に溶け込みながら走る市電。市が運営するこの2つの交通機関は、通勤・通学、買い物などさまざまな目的で利用されています。今回の特集では、これらの歩みや日々の運行に携わる人の声を紹介。市営交通の魅力や役割を改めて考えます。

【詳細】 交通局総務課 ☎896-2708

さまざまな交通機関が担っている「暮らしの足」

市内で公共交通を利用する人は1日平均約130万人。地下鉄、市電をはじめ、バスやJR、タクシーなども含めた交通網が、暮らしに欠かせない存在になっています。

■平成27年度の各交通機関の利用者割合



地下鉄と市電が約5割！



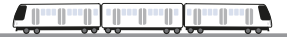
札幌市公文書館所蔵



交通局所蔵



街の発展とともに歩んだ90年



市民の暮らしに大きく関わる交通事業。ここでは、安定したサービスを届けるために、市が運営を始めた昭和2年から現在までの歩みを振り返ります。

市営交通と札幌市の歩み

- 1927(昭和2)年12月……電気局(現在の交通局)が電車事業を市営化
- 1930(昭和5)年10月 市営バスの運営を開始
- 1970(昭和45)年 人口100万人突破
- 1971(昭和46)年12月……地下鉄南北線(北24条～真駒内間)開業
- 1972(昭和47)年2月 札幌オリンピック開催
- 1976(昭和51)年6月 地下鉄東西線(琴似～白石間)開業
- 1984(昭和59)年 人口150万人突破
- 1988(昭和63)年12月 地下鉄東豊線(栄町～豊水すすきの間)開業
- 2004(平成16)年4月……市営バス事業を廃止
- 2009(平成21)年1月 ICカード乗車券SAPICAのサービスを開始
- 2011(平成23)年3月 駅前通地下歩行空間開通
- 2015(平成27)年12月 市電のループ化(環状化)工事が完了し、狸小路に停留場を新設
- 2017(平成29)年3月 地下鉄全駅でホーム柵の設置を完了

昭和
2年～



▲昭和40年当時、ラッシュ時には線路上に市電が連なっていた

市電と市営バスが大活躍

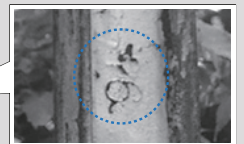
開業当初は約16kmだった市電の路線。昭和39年には約25kmに延伸し、同年度の通算利用者数が初めて1億人を突破。昭和5年に開業した市営バスとともに交通の要でした。

見に行こう

道内最古級のレールを再利用した柱

かつて市電の送電線を支える柱として使われていた、米国製の古いレールが現在も3本立っています。140年以上前に作られた市電のレールを見つけてみては。

場所 中央区南21西5柏中学校校門付近。市電幌南小学校前停留場から徒歩2分



▲1876年に製造されたことを示す「76」の刻印を見ることができる

昭和
46年～

地下鉄開業と市電の縮小

札幌オリンピック前年の昭和46年に地下鉄南北線が開業し、市電、バスは路線を再編。市電の9路線は昭和49年には1路線まで減りました。



▲南北線開業初日で混雑している北24条駅

見に行こう

南北線工事のために引越したイチヨウ並木

中島公園にあるイチヨウ並木は、地下鉄の建設のためにやむなく一時期移動。しかし、その後も元気に成長し、今では市内有数の紅葉スポットになっています。

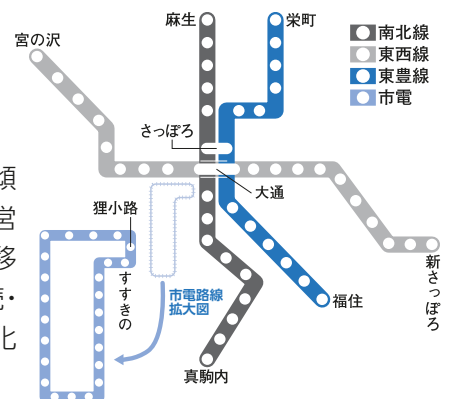
場所 地下鉄南北線中島公園駅1番出口すぐ



平成
16年～
現在

市営バスの廃止・市電路線のループ化が完了

地下鉄・市電・市営バスともに利用者数の減少傾向が続く中、厳しい経営状況に。検討の結果、市営バスは平成16年までに全路線を民間事業者に移譲しました。市電は市民の意見を踏まえ、存続・ループ化することを決定。平成27年にループ化工事が完了し、現行の路線となっています。



行を支える人たち



たくさんの方の存在があります。
通して、市営交通の魅力に迫ります。



市電を支える

安心感を与えられる運行を支えるため、
どんな不具合も見逃さない

——日々の整備の内容を教えてください。

車両は5日、3カ月、4年、8年など一定の周期で、内容の異なるさまざまな検査をしています。検査の中には、車体の底にこびりついた泥や汚れを高圧の風で吹き飛ばす作業も、自分足泥だらけになりますが、きれいになった市電を見るとすがすがしいですね。これとは別に、運転手からの声を受けて、車両をチェックすることもあります。

——車両の状態を運転手と共有しているのよね。

はい。1日の乗務を終えた運転手から「ドアの開き方が遅い」「揺れが大きい」などの

市電の整備に携わる

きた やま たか ひろ

北山 貴大さん

市電の保守検査や修理・整備の指示などを行う。

報告を受けると、どんなに小さいなことでも原因を調査。安全の確保や乗り心地に影響することもあるため決して手を抜きません。これらの日々の検査業務を、専門の民間事業者の力を借りて取り組んでいるんですよ。

——こうした保守作業が、長い間市電を守っていくことにつながるのですね。

そうですね。私の好きな車両の一つ、M101号車は今年で56歳なのですが、このような古い車両は、不具合が見つかったても、必要な部品の生産が既に終了していることがあります。そういうときは、製造初期の図面を確認し、地元の間事業者と協力しあって一から部品を作るんですよ。時間がかかって苦労しますが、小さい頃から興味があった機械が動く仕組みを知ることが

市電の楽しみ方

街歩きに参考になる沿線マップを配布中



博物館や文化財など地域の名所を紹介。市電の停留場のほか、地下鉄駅から歩いて巡れる全22コース分があります。
[配布場所] 市電車内、地下鉄駅構内など



▲車両を解体して、部品一つ一つを丁寧に検査することもある

——市電は札幌にとってどんな存在でしょうか。

買い物帰りの高齢の方、図書館のそばで降りる学生、観光客ら、いろいろな方の生活の一部として利用されていると感じます。それと同時に、道内で市電が走るのには札幌と函館だけですので、街の魅力の一つでもあると思います。お出掛けの際は、市電に乗って車窓から見える四季折々の風景もゆっくり堪能してほしいですね。

市営交通90周年

記念イベントをチェック!

地下鉄&市電セット 1日乗車券の発売

地下鉄と市電が1日乗り放題になる記念乗車券を発売します。

発売・有効期間 11/1(水)~来年3/31(土)

発売場所 各地下鉄駅、各定期券発売所ほか

料金・発売枚数 大人900円、45,000セット。子ども450円、5,000セット



謎解きスタンプラリー

地下鉄に乗り、市営交通に関する謎を解いてスタンプを集めるイベントを開催。スタンプを全て集めた方先着500人に、オリジナルグッズをプレゼントします。

日時 12/1(金)~3(日) 11時~18時

出発地・費用 駅前通地下北大通交差点広場。無料。ただし、有効な各種1日乗車券が必要。左記の記念乗車券も可

申込 当日直接会場へ



市営交通パネル展

90年の歴史を振り返る写真や映像のほか、ブロック玩具でできた市電、地下鉄の模型も展示します。

日時 12/1(金)~3(日)

会場 駅前通地下北大通交差点広場

安いで快適な運



乗客を無事に目的地へ運ぶ陰には
日々の運行に携わる思いや働く姿を

安全運転を徹底して 信頼される交通機関でありたい

最初は車掌として配属されてきたと聞きました。

地下鉄の車内で車掌の採用試験の広告がふと目に留まったのがきっかけで、興味を持つようになりまし。実際に働いている姿を見に行ったとき、子どもに優しく手を振り返す車掌の姿が目にとまり、私もこんなふうになりたいと思い、試験を受けました。

現在は運転手をされているのですよね。

そうですね。運転手が一人で行うワンマン運転が地下鉄全線で開始となることを見据えて、2年前から運転手として勤務を始めました。運転手の主な仕事は、標識や運転席



地下鉄を女さん

地下鉄を運転する

ぬまた かな
沼田 佳奈さん

東西線の運転手。東豊線の車掌としての勤務経験もある。

地下鉄の豆知識

雨は降らないのにワイパーが付いている



トンネル内は温度変化などで水滴が落ちてくることも。前方についているハンドルを左右に動かすことで、ワイパーを操作し、水滴を取っています。

にあるモニターの表示を声に出して速度やブレーキが正常かどうかを常に確認し、安全に地下鉄を走らせること。地下鉄は原則、自動運転なのですが、いざというときに自ら運転できるように定期的に手動運転も行っています。

手動運転で重要なことはなんですか。

7段階あるブレーキの切り替えですね。お客様が車内で



▲円滑に乗り降りができるよう、駅や時間帯の特徴に合わせたアナウンスをする

感じる振動を最小限にするためのタイミングが難しいんですよ。「優しい運転」ができるように、普段から優しい気持ちでいるようにも心掛けていますよ。

地下鉄を運転していないときでも、気を付けているのですね。

はい。他には日頃から非常時を想定することも大切に行っています。例えば、その日行った緊急対応は、必ず職場で情報共有されるので「自分だったらどのように対処するか」と常に考えるようにしていますね。

地下鉄への思いを教えてください。

安全運転という当たり前のことを徹底していくことで、お客様に安心して乗っていただける、信頼される交通機関でありたいです。

市営交通でより人に優しい街へ

市電や地下鉄は、市民の暮らしを支えると同時に、多くの方に利用してもらうことで支えられてもいます。暮らしに欠かせない市営交通がこの先も皆さんとともにあり続けるために、市電や地下鉄で出掛けてみませんか。

読者プレゼント

① お金を入れると発車・到着案内などの音が鳴ります！

① 東豊線9000形 サウンド貯金箱(2人)

② ササラ電車キューピーストラップ(5人)



申込はがき、ファクス、Eメール。希望商品名、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の感想を記入し、10/23月(必着)までに広報課(1ページ)へ。抽選

市営交通グッズは交通事業振興公社(大通駅構内、☎251-0822)で発売中